

第6学年1組 学級活動指導案

平成22年6月1日（火）第3校時

授業者 教諭

図書館支援員

場 所 図書室

1 題材 1年生に絵本の読み聞かせをしよう

2 題材について

(1) 題材設定の理由

読書活動は、国語科をはじめ各教科の「読解力」を支える基盤であると言われている。また、基礎学力を形成していく上でも大きな力となっていくものである。このことから、小学校の段階で学年に応じた読書指導を行うことはたいへん意義深いと考えられる。

その中でも特に「読み聞かせ」は、読書指導の第一歩とも言われている。読み聞かせをすることにより、絵本が好きになる、絵本を読む力が育つ、聞く力・集中力が育つ、情操が豊かになる、こころが育つ、ことばを獲得しことばへの感覚が磨かれる、などの数多くの力が育っていくことが考えられる。そこで、1年生の児童が入学して2ヶ月が過ぎたこの時期に、1年生に本の楽しさを十分に味わわせるため、また6年生自身が読み聞かせを通してさらに読書に意欲的に取り組んでいこうとする態度を身につけさせるため、この題材を設定した。このようにして、児童に豊かな本の世界を十分に体験させることで、中学校でのより幅広い読書活動へつなげていきたいと考える。

(2) 題材の構成

1年生に絵本の読み聞かせをしよう（3時間）	本時 2 / 3
題 材	主な学習内容
自分が読み聞かせをする絵本を選ぼう ・・・1時間	この時期の1年生にふさわしい絵本を選ぶ。
絵本にふさわしい読み方を工夫しよう ・・・1時間(本時)	読み聞かせポイントや友達からのアドバイスを もとに、読み聞かせの練習をする。
1年生に読み聞かせをしよう ・・・1時間	各班ごとに、1年生に読み聞かせをする。

3 児童について

本校では、年間を通して週2回の朝読書の時間が設定されており、児童は本を継続的に読む習慣が身に付いている。「学年おすすめの20冊」や「物語おすすめの10冊」をはじめ自分が図書室から借りてきた本を楽しく、計画的に読んでいる。

また本学級では、読み聞かせをしてもらうこと、読み聞かせをすることの両方を楽しみにしている児童も多い。昨年度の2学期には、「低学年に本を読んであげよう」をテーマに、1、2年生に「ろくべえまってるよ」の絵本を班の友達と分担して読み聞かせをする体験もしている。同じ絵本を使って、デイホーム訪問で、お年寄りの方々に読み聞かせをさせていただいた経験もある。それぞれ相手に合わせて読み聞かせをすることの楽しさや難しさは、少しずつ理解している状況である。自分一人で一冊の本全部の読み聞かせをする経験はまだない。1年生とは、毎日の登校班や清掃班、給食のお手伝い、ふれあいタイムなどで顔を合わせる機会が増えてきているが、児童はこの時期の1年生がどんな本を好んで読んでいるか、またどんな本が読み聞かせにふさわしいかなどについては、把握できていないようである。

4 指導について

研究主題を受けて、本学級では「読解力を伸ばすための読書活動」をテーマにして読書活動に取り組んでいる。今回の学習にあたっては、絵本に書かれた「ことば」に注目させていきたい。作家によって選び抜かれた「生きたことば」を児童がどう感じ、それを読み聞かせの中でどのように表現するかを考えさせていきたい。また、今までの自分の読み聞かせ経験を十分に生かして、1年生が物語の展開をわくわくしながら待つことができるような読み方やページのめくり方などについても考えさせていきたい。そして、ワークシートを使った相互評価を上手に生かしながら、お互いにより良い読み聞かせができるようにさせていきたい。

また今回は、一冊の本を全部自分一人で読むという方法をとるため、実際に自分で本を手にして、何度も練習をすることが可能となった。じっくりと時間をとって自分なりの表現方法の工夫もさせていきたい。

本時は、図書館支援員をゲストティーチャーとして迎えて授業を行うが、担任だけでなく、読書指導に関する専門的な知識を持っている図書館支援員からの指導を受けることで、より幅広い学習にしていきたい。

5 本時の目標

- ・班で協力して、友達の読み聞かせについて適切なアドバイスをすることができる。
- ・「読み聞かせポイント」や「友達からのアドバイス」をもとに、各自が本の内容にふさわしい表現を工夫することができる。

6 準備物

- ・各自が読み聞かせに使う本
- ・板書用資料                      ・ワークシート

7 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)
<p>○全員が共通して練習に取り組んできた「ねずみくんのブランコ」の本の読み聞かせ発表をする。 (代表の2名)</p>	<p>・友達の読み方の良いところを見つけられるように集中して聞くことができるようにする。</p>
<p>1年生に絵本の楽しさが伝わるように、工夫して読み聞かせをしよう</p>	
<p>○自分が選んだ本の読み聞かせをするとき、どんな工夫をするとよいかについて話し合う。</p>	<p>・声の大きさ、読む速さ、間の取り方などに注目できるようにする。 ・1年生に「聞く楽しさ」を味わわせるための方法について、藤川先生からもアドバイスをしてもらう。 ☆1年生にわかりやすい読み聞かせをするためのポイントに気付くことができたか。(発表)</p>
<p>○話し合った「読み聞かせポイント」をもとに、班で練習をする。</p>	<p>・友達の読み聞かせについて、気がついたことをワークシートに記入していく。 ・担任や図書館支援員からも励ましのアドバイスをする。 ☆友達の読み聞かせを聞いて、適切なアドバイスができたか。(ワークシート)</p>
<p>○「友達からのアドバイス」をもとに、各自で読み聞かせの練習をする。</p>	<p>・聞いてもらった友達からのアドバイスをもとに、さらに表現の工夫ができるようにする。</p>
<p>○お互いの読み聞かせを聞いて、良かったところ、自分もやってみたいと思ったところ、などをまとめる。</p>	<p>☆読み聞かせの練習をして上手に工夫ができたことや、さらに工夫していきたいことなどについて、ふり返ることができたか。(発表, ワークシート)</p>
<p>○次時の予告を聞く。</p>	

8 授業の観点

- ・「読み聞かせポイント」や「相互評価」をもとにした班ごとの練習は、表現を工夫していくために有効であったか。